

気象庁長官 殿

国土交通大臣 冬柴 鐵三

平成 1 8 年度に気象庁が達成すべき目標についての評価

中央省庁等改革基本法（平成 1 0 年法律第 1 0 3 号）第 1 6 条第 6 項第 2 号の規定に基づき、平成 1 8 年度に気象庁が達成すべき目標についての評価を次のとおり実施したので、通知する。

I. 気象庁が達成すべき目標についての評価にあたって

この評価は、実施庁が目標を達成したかどうかを判断するとともに、目標を達成するために必要な措置等が講じられたかどうか等を視点として評価するものであり、評価結果は、実施庁の効率的な業務執行に活かされるべきものである。

II. 気象庁が達成すべき目標についての評価

1. 的確な観測・監視及び気象情報の充実等について

具体的な目標の内容 24時間先までの3時間刻みの台風予報、台風から変わった温帯低気圧に関する情報の提供を平成19年の台風シーズンから開始するためのシステム整備を行う。
評 価 【評定】 目標は達成されたものと認められる。 【所見】 平成 18 年度においては、情報発表に必要なシステム仕様、電文フォーマットが決定されシステム整備が進んでおり、平成 19 年の台風シーズンから情報の提供を開始する準備が整っている。 引き続き、システムの適切な運用を通じ、きめの細かい情報提供に努めることが期待される。

具体的な目標の内容 「緊急地震速報」の実用化にあたり、鉄道分野など混乱なく利活用ができる利用分野に

対する、配信事業者を通じた本格的な情報提供を開始する。広く一般への提供については、利用にあたり混乱を生じる可能性があるため、関係機関と連携して、モデル地域における実証実験などの周知・啓発活動を行い、平成 18 年度中に提供開始時期の判断を行う。

評 価

【評定】

目標は達成されたものと認められる。

【所見】

平成 18 年 8 月 1 日から、鉄道分野など混乱なく利活用ができる利用分野に対する緊急地震速報の提供が開始されている。

広く一般への提供に向けて、広報用リーフレットの作成や配布、地方公共団体等関係機関と連携したモデル実験（モデル地域における実証実験）の開始、テレビ・ラジオの協力による広報等の周知・啓発活動を実施している。

また、有識者等からなる検討会を開催し、緊急地震速報の「利用の心得」や平成 19 年秋頃から広く一般への提供を開始することが適切である旨の最終報告を取りまとめている。

引き続き、広く一般への提供に向けて適切な準備を行っていくことが期待される。

具体的な目標の内容

飛行場における気象等の観測・監視の能力の向上を図るため、82 空港で空港気象観測システムを運用することを目指す。平成 18 年度は 3 空港に新たに整備し、計 46 空港で運用する。

評 価

【評定】

目標は達成されたものと認められる。

【所見】

平成 18 年度は、関西国際空港、福島空港、八尾空港の 3 空港において空港気象観測システムを整備し、運用を開始しており、計 46 空港での運用を実現している。

引き続き、システムの運用を拡大し、気象等の観測・監視の能力向上を図っていくことが期待される。

具体的な目標の内容

関係機関と密接に連携して、観測成果の活用、情報内容の充実を図るものとして都道府県が管理する河川を対象として、都道府県と共同で行う洪水予報（指定河川洪水予報）を 21 都道府県での実施から 30 都道府県での実施に拡充させる。

評 価

【評定】

目標には達していないが相当の実績が上がっている。

【所見】

平成18年度においては、埼玉県、神奈川県、宮崎県、兵庫県、福井県、香川県及び鹿児島県の7県において、県が管理する河川を対象として県と気象庁とが共同で発表する指定河川洪水予報業務を開始しており、着実な取り組みが行われている。これにより、都道府県と共同で行う洪水予報は、目標の30都道府県には及ばなかったものの、28都道府県にまで拡大している。

引き続き、都道府県と地元気象台との協議を重ね、指定河川洪水予報業務の拡充を図っていくことが期待される。

具体的な目標の内容

異常気象リスクマップ(※)を作成する。初年度として平成18年度には、全国51地点の過去100年以上の気象データをもとに、極端な降水量の頻度に関する情報を関係機関に試行的に提供する。

※過去100年以上にわたる気象庁の観測データを駆使した、異常気象の頻度等の実態やその長期変化傾向に関する情報をわかりやすい図表形式にしたもの

評価

【評定】

目標は達成されたものと認められる。

【所見】

平成18年度は、確率降水量の算出方法など技術的な検討のほか、解説方法など運用上の課題についても検討し、過去100年以上の日降水量データにより、全国51地点における確率降水量や年降水量の変動幅およびそれらの長期変化傾向に関する情報を作成している。さらに、空間的により詳細なリスクマップとして、アメダス地点における1979-2000年の平年値により、大雨や少雨に関する分布図を作成している。これらのプロダクトを「異常気象リスクマップ(平成18年度版)」として取りまとめ、平成19年3月に関係機関に提供するとともに気象庁ホームページで公表し、周知を図っている。

引き続き、異常気象に関する情報の提供に努めていくことが期待される。

具体的な目標の内容

東海地震の監視能力向上及び東南海域の地震活動の把握のため、新たにケーブル式海底地震計を整備する。平成18年度は、地震計、津波計などセンサー部分の製作を完了させるとともに、平成18～19年度に予定されているケーブルの製作に取りかかる。

評価

【評定】

目標は達成されたものと認められる。

【所見】

平成18年度は、地震計、津波計などセンサー部分の製作を完了している。

ケーブルの製作についても、予定の工程どおり実施している。

引き続き、東海地震の監視能力向上及び東南海域の地震活動の把握のため、ケーブル

式地震計の整備を続行することが期待される。

具体的な目標の内容

活動度の高い火山の活発化に対応して、火山における地震や地盤の膨張・伸縮等から地下のマグマの動きを的確に把握できる火山の数を、平成19年度までに全国で10とすることを目指し、観測データの解析技術の改良等を進めることで平成18年度には、その把握能力を有する火山を8とする。

評 価

【評定】

目標は達成されたものと認められる。

【所見】

平成18年度は桜島と雲仙岳の2山について観測データの解析技術等の改良を図った結果、マグマの動きを的確に把握できる火山の数は8となっている。

引き続き、他の活動度の高い火山についても地下のマグマの動きを的確に把握できるよう、技術改良等を推進することが期待される。

2. 気象業務に関する技術に関する研究開発の推進について

具体的な目標の内容

天気予報、週間天気予報等の基礎となる全地球を対象とした数値予報モデルを改善し、平成22年までに、2日後の予測誤差（数値予報モデルが予測した気圧が500hPaとなる高度と実際の高度との誤差。平成17年度実績は18.3m。）を、平成17年から約20%向上（目標値15m）させ、予報の改善に反映させる。

評 価

【評定】

目標達成に向けて概ね順調に推移している。

【所見】

平成18年（年間平均）における2日後の予測精度は、北半球では17.9mであった。

運輸多目的衛星「ひまわり6号」の毎時衛星データ等、衛星データを数値予報モデルにより多く利用できるよう技術の改良を行い数値予報の初期値を改善した結果、平成17年から0.4mの改善が見られた。

引き続き、新しい衛星観測データの利用等を進め、平成22年度の目標年度に向けて予測精度の向上を図っていく必要がある。

3. 気象業務に関する国際協力の推進について

具体的な目標の内容 平成17年3月から提供開始した北西太平洋津波情報について、その津波予測の領域を南シナ海へ拡大する。引き続き、インド洋における国際的な津波早期警戒システムの構築の支援として、関係の国際会議に職員を派遣するとともに、国際的な研修等に積極的に参画することにより、我が国及び太平洋域で培ってきた、津波予報の作成、発表及び伝達に係る知見や技術を関係国に提供する。
評 価 【評定】 目標は達成されたものと認められる。 【所見】 北太平洋津波情報の津波予測・発表の領域を平成 18 年 7 月に南シナ海へ拡大している。 平成 18 年度にインド洋における国際的な津波早期警戒システムの構築の支援のため、国際会議への職員の派遣（5 件）、国際的な研修（3 件）、インドネシア、マレーシアへの専門家の派遣等により津波予報の作成、発表及び伝達に係る知見や技術を関係国に提供している。 引き続き、国際的な津波早期警戒メカニズムの構築に向け、津波予報に係る技術の提供等の支援を関係国に行っていくことが期待される。

4. 気象情報の利用促進等について

具体的な目標の内容 民間において利用可能な気象情報について、天気予報に関する数値情報等の充実により、提供量を3GB／日以上にする。
評 価 【評定】 目標には達していないが相当の実績が上がっている。 【所見】 平成 18 年度は、図形式気象情報（図やグラフを活用した防災情報）の提供を新たに開始したものの、情報量としては前年度と同じ 2.9GB／日であった。 (数値情報の拡充等により、平成19年5月現在、提供量は3GB／日以上となっている。) 今後も、様々な要望に応じた民間による気象情報の作成・提供の支援に資するよう情報提供の拡大を図っていく必要がある。